

昨日11月15日(水)に宜野座村人権擁護委員の知名邦子さん、末石森春さん、屋比久初江さんをお招きし、人権尊重の考え方や共生の心を身につけさせることをねらいとして「人権教室」を開催しました。

「人権教室」では、「ずっとともだちでいたいから」の絵本をプレゼンテーションで見せていただきました。「三羽のカラスは、スズメと遊ぶ仲間のカラスがうらやましいのですが、それをうまく伝えることができずスズメを“小さい＝弱いもの”として、理由なくからかったり、いじめたりします。スズメは無垢な心でともだち関係を築いているのに、理由のないいじめに悩み傷つきます。しかし、『ずっと、ともだちでいたい』という思いから、フクロウ先生の励ましもあって、自分の気持ちをはっきりと伝えます。また、三羽のカラスは、たとえばいじめの認識がなく遊びの延長であったとしても、他者(心や体)を傷つけることは“ぜったいにしてはならないこと”であり、相手の気持ちになって思いやりの心を持つことが必要であることに気づきます。」というのが内容です。

このことを通じて、スズメとカラスの間に強い友情が育まれるとともに、周りの小鳥たちの気持ちも変えていく、ことができたのです。相手を思いやる気持ちを持つことが、それぞれの人権を守ることにつながるのだということでした。

自分を大切にすること、他の人を大切にすること、互いを大切にすることを学び、一人ひとりが認め合い、楽しく元気に毎日を過ごせることが、人権を学ぶ意味だとお話していました。

3名の人権擁護委員の皆さんから、幼稚園児はマスコット、児童はクリアファイルと消しゴムのプレゼントをいただきました。また、「松田幼稚園、松田小学校の子ども達は、聞く態度がとても素晴らしい。真剣なまなざしで長い時間姿勢を正して聞いてくれるので、お話しするほうも楽しくなりました。それに、子ども達が自分の言葉で感想を述べることでできていたのも感心しました。」とお褒めの言葉をいただきました。

国頭地区童話・お話大会でも、平和集会でも、そして、朝の集会のときも、子ども達の「聞く態度」はお褒めのことばをいただいています。これは、松田の幼児・児童の良さであり、松田校の「よき伝統」です。



写真6 人権教室の様子



写真7 講師と集合写真

人権教室を終えての子ども達の感想

自分が軽い気持ちでやっていることが、人を傷つけることもあるので、これからは、相手のことを考えながら、気をつけていきたいと思います。

今日は、人権に関するお話をしていただき、ありがとうございました。

(6年生 女子)

私の軽い気持ちで話していることが人を傷つけることがあることがわかりました。今日、聞いたお話をこれからの学校生活に活かしていきたいです。

今日は、お忙しい中、来ていただいて、ありがとうございました。

(6年生 女子)

人権についてのお話を聞いて、私も相手の気持ちを考えずに話すことがあるので、中学生になっても、いじめが起きないように、相手の気持ちを考えて行動していきたいと思います。

今日は、私達のために、お話していただき、ありがとうございました。

(6年生 女子)

今日、人が言われてうれしいことばと言われてかなしいことばがあることがわかりました。自分がよければなんでもいいではなく、相手のことも考えないといけないとわかりました。

(2年 女子)

いじわるをされている人は、いやな気持ちになったり、「安心・自信・自由」がなくなることがわかりました。これからも人にやさしくしてあげたいです。

(3年 男子)